認知機能と情動機能

佐々木英忠¹⁾ 藤井 昌彦²⁾

(日老医誌 2015 ; 52 : 100-101)

Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia (BPSD) を別の見方をすると、泣いたり怒ったりすることができることから情動をつかさどる大脳辺縁系は比較的保たれていることを意味している。BPSD に抗精神病薬を使用すると、認知症の唯一残っている大脳辺縁系の働きまで抑えてしまい、なにも生まれてこない。むしろ残っている大脳辺縁系に良い刺激を加え BPSD を軽減させる方法が有効である。さらに新皮質と大脳辺縁系は mutual control を受けているので、問題行動も減るばかりでなく新皮質の機能回復もきたすと考えられるので、認知症のケアには情動機能への心地良い刺激が鍵と考えられる。

認知症の認知機能が幼児の認知機能に相当すると報告されているが、「戦争時代の困窮した時代からみると今は恵まれている」、といえる認知症は Mini-Mental State Examination (MMSE) では幼児レベルに相当するかもしれないが人として感謝する気持ちは幼児よりはるかに優れたものを持っていると言わざるを得ない。認知症を MMSE のみで判定することは誤りであると思われる。加齢とともに物忘れがすべての人に訪れ認知症が増大する今日、情動機能という新しい認知症の判定基準がケアに有効なのではないか。

チンパンジーにジュウスを注いでみせるとチンパンジーはジュウスのみを見ているが、2 歳くらいの人間の子供にジュウスを注いでみせると子供はジュウスとジュウスを注いでくれた人の顔を見ている。ジュウスを注いでくれた人がどういう気持ちでくれたのかを慮っている。人とチンパンジーの差はジュウスという知識は同じ様に理解し関心を持っているが、人はジュウスを注いでくれた人がやさしい気持ちで注いでくれ

ているのか相手の感情を思いやる能力、つまり大脳辺縁系が発達していることにあと報告されている。大脳辺縁系の情動でひとは動くことから、大脳辺縁系が目的をつかさどり、新皮質は目的を達成するための道具に過ぎない。MMSE から診断された認知症は新皮質という道具が衰えているかもしれないが、大脳辺縁系という人たる能力は保たれている人たちがいるのであれば認知症と診断できるのであろうか？

大脳辺縁系の情動機能は NPI やうつスケールなどの病的状態を表す方法が用いられてきたが、NPI が高いということは、情動機能が保たれているために、怒りや暴力などが発揮できることを示している。しかし、怒りや暴力などを含めた情動機能の指標はこれまで発表されていない。私どもは、認知症情動機能検査 (Mini-emotional State Examination, MESE) を報告した¹⁾。MESE は五感を通じての情動機能と human condition, morals, happiness, social experiences, and sadness and poignancy などの統合的情動機能に大別され、30 問で 30 点満点である。それによると、MMSE と MESE の両方とも低い人もいるが、MMSE が低くとも MESE は正常に保たれる認知症の人たちがおり、両者は別の機能として存在していることを示している。MMSE が低くとも MESE が保たれている人たちは知識は欠けているが人の痛みは理解できる人たちである。健常者でもどの組織でも情熱のある社員を求めるといわれられていて、決して物覚えが良いいわゆる頭の良い社員を求めるとは言っていない。情動機能が認知機能より大切に扱われている。

欧米から入ってきた概念に、Successful aging がある。いくら年を取っても若い人と同じように元気でい

1) 前理事長、仙台富沢病院

2) 仙台富沢病院

るという概念である。しかし、年を取ってゆけば臓器の働きは衰え記憶力も落ちてゆくわけで Successful aging は無理である。それに対して Balanced aging というコンセプトがある。高齢者の臓器や新皮質の機能という道具は衰えるが、それに見合うだけのささやかな大脳辺縁系の喜び、生きる目的、があって、両者のバランスが取れていれば幸せな気持ちになれば QOL は保たれるという概念である。すべての臓器は加齢とともに低下するのであるから、高齢者が物忘れするのは仕方のないことで、人としての情動機能がある程度保

たれていれば、人らしい生活が送れることから、認知症は認知機能より情動機能を主体に診療、介護が展開されるべきと考えられる²⁾。

文献

- 1) Fujii M, Butler JP, Hirazakura A, Sasaki H: Mini-Emotional State Examination for dementia patients. *Geriatr Gerontol Int* 2014; 14: 508-513.
- 2) Fujii M, Butler JP, Sasaki H: Emotional function in dementia patients. *Psychogeriatrics* 2014; 14: 202-209.